

# Autodesk® Softimage®

2011

Creativity Decoded.  
創造力の解放



Autodesk Softimage 2011は、ICE キネマティクスなどの革新的なツールを搭載し、アーティストはより複雑で高品質なキャラクター アニメーションやエフェクトを短時間で作成可能

## Autodesk Softimage 2011 動作環境

### ■32bit版

OS: Microsoft Windows 7 Professional  
Microsoft Windows Vista Business (SP2)  
Microsoft Windows XP Professional (SP2)

CPU: Intel Pentium Dプロセッサ以上。Intel  
またはAMDプロセッサ搭載のデュアルもしくは  
クアッド コアワークステーション

メモリ: 2GB

ディスク空き容量: 1.6GB

グラフィックスカード: ハードウェアアクセラ  
レータ付きOpenGL 1.5 (2.0以降推奨)

ディスプレイ: 1,280×1,024

ブラウザ:

Microsoft Internet Explorer 6.0以降

その他必要なソフトウェア: DirectX 9.0c以降

ハードウェア オプション: DVD-ROMドライブ

周辺機器: 3ボタンマウス

### ■64bit版

OS: Microsoft Windows 7 Professional  
Microsoft Windows Vista Business (SP2)  
Microsoft Windows XP Professional (SP3)

CPU: Intel Pentium Dプロセッサ以上。Intel  
またはAMDプロセッサ搭載のデュアルもしくは  
クアッド コアワークステーション

メモリ: 4GB以上 (8GB推奨)

ディスク空き容量: 1.6GB

グラフィックスカード: ハードウェアアクセラ  
レータ付きOpenGL 1.5 (2.0以降推奨)

ディスプレイ: 1,280×1,024

ブラウザ:

Microsoft Internet Explorer 6.0以降

その他必要なソフトウェア: DirectX 9.0c以降

ハードウェア オプション: DVD-ROMドライブ

周辺機器: 3ボタンマウス

Autodesk® Softimage® 2011に新しく搭載された革新的なレンダリング、アニメーション、シミュレーション ツールにより、アーティストとテクニカル ディレクタ (TD) は、より複雑で高品質なキャラクターやエフェクトを短時間で作成できます。先進的な新しいシェーディング アーキテクチャと編集環境に搭載された強力なツールセット、ICE (Interactive Creative Environment) でのキネマティクスのサポート、Face Robot®の自動リップシンク機能により、Softimage 2011のユーザは、日々困難さを増す制作の課題に打ち勝ち、よりリアルなコンテンツを作成するための柔軟さを手にすることができます。

### 統合的な3D制作ソリューション

エンターテインメント業界で最も使用されている3D制作ツールの1つであるAutodesk Softimageは、優れたキャラクター アニメーション ツールというだけでなく、シミュレーションやエフェクトなど制作に必要なツールが搭載されています。

### 革新的な機能

高度な3Dモデリング、アニメーション、ビジュアルエフェクト、レンダリングに対応した幅広い機能にアクセスできます。Softimage 2011では、ICE キネマティクスのサポート、Face Robotの自動リップシンク機能追加、新たに100個におよぶICEコンパウンドが追加されるなど、よりよい制作環境を提供します。

### パイプラインの相互運用性

Autodesk® CrosswalkおよびAutodesk® FBX® テクノロジーにより、オートデスクおよび特定のサードパーティ アプリケーションとの間で3Dデータの交換が可能です。ICEやFace Robotなど革新的なツールにより、Softimage単独での利用はもちろんのこと、Autodesk® Maya®との併用パイプラインでも威力を発揮します。

### 優れた生産性

独創的なマルチスレッドのSoftimageギガコア アーキテクチャを使用して、すばやく効率的に作業ができます。ギガコアはデータ処理に優れているので、速度を大幅に向上させることができ、厳しい納期にも対応できます。さらに、ノンリニア ワークフローやPython®スクリプトなどにより、生産性を最大限に高めてくれます。



## Autodesk Softimage 2011 主な新機能

### レンダリング サンドボックス

テクニカル ディレクタ、シェーダ ライター、サードパーティの開発者は、外部シェーダやレンダラを自動的にホストするまったく新しいシェーダ オーサリング環境を利用できます。カスタムのシェーダUIやその他のカスタム ツールは必要ありません。シェーダとレンダラは、レンダパス、レンダ領域、シェーダボール、レンダツリー、マテリアルマネージャなどの強力なSoftimageレンダリング機能に自動的にアクセスでき、単一の .dll によってSoftimageで公開することができます。たとえば、最新のNVIDIAシェーダをSoftimageにドロップするだけで、即座に使い始めることができます。

### ICEキネマティクス

柔軟なICEにより、より簡単かつ短時間でキャラクターやシーン要素の動きや振る舞いを制御できます。ICEキネマティクスにより、テクニカル ディレクタは、カスタムのインバース キネマティクス、コンストレイント、ダイナミックなテイルといった、高度なりギング要素を簡単に作成できます。ICEのグラフ ベースのビジュアル構造により、試行錯誤の回数が低減され、テクニカル ディレクタは、簡単に他のユーザが作成したリグの構造を調べ、問題をトラブルシューティングしてデバッグできます。さらに、ICEキネマティクスを使用すると、参照に必要な中間オブジェクトが減り、リグの評価の複雑さを軽減し、迅速化できます。



Face Robotに自動リップシンク機能搭載

### Face Robotの自動リップシンク機能

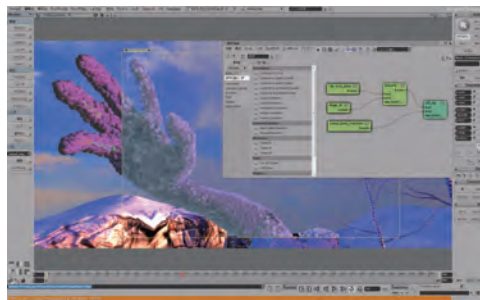
Face Robotの新しい自動リップシンク機能により、オーディオ ファイルに基づいてフェイシャル アニメーションを迅速に生成できます。音素と口形素をコントロールする新しい専用のビューを利用して、ファンクション カーブによってそれぞれの強度を調整できます。この新しい機能により、Face Robotツールセットは、フェイシャル リギングとアニメーションのより完成度の高い自動化ソリューションとなっています。

### 100個の新規ICEコンパウンド

100個もの新しく追加されたICEコンパウンドから、幅広いエフェクトを作成できます。コンパウンドを直接プリセットとして使用することも、アーティストが自分のICEエフェクトを作成するための開始点や学習ツールにすることもできます。

### 100個の新規mental rayシェーダ

100個もの新しく追加されたmental ray® シェーダにより、レンダリングの創造性と生産性を強化できます。miおよび.mipプロダクション シェーダにより、アーティストは幅広いマテリアルをシミュレートできます。



ICEキネマティクスをサポート

### PhysX 2.83

最新のNVIDIA® PhysX® リジッド ボディ ライブラリによる変形シミュレーションをICEで簡単に作成できます。スプリングやダンパーが新たにサポートされ、アーティストはゼリーのような変形やプラスチックの変形などといった、幅広いエフェクトをより簡単に作成できます。オプションでNVIDIA® CUDA™対応のGPUを使用すると、パフォーマンスがさらに高速になります。

### カメラとレンダスレート

新しいカメラとレンダスレート機能では、ビューポートやレンダにシーン名、カメラ、レンダ パス、フレーム番号などの便利な情報を表示できます。

### 複数カメラのレンダリング

複数のカメラからのパスをレンダリングする時間を短縮します。各パスですべてのカメラによるシーケンスをレンダリングできるようになりました。

### mental ray 2011

新しいmental ray 2011レンダラでは、全般的に向上した安定性とBSP2のパフォーマンスの向上による迅速なレンダリングにより、さらに強力な生産環境を利用できます。

### Autodesk® Subscription (オートデスク サブスクリプション)

最新バージョンの入手ができる年間契約のソフトウェアメンテナンス プログラムです。

[www.autodesk.co.jp/subs](http://www.autodesk.co.jp/subs)

### 購入先

Autodesk Softimage、サブスクリプション、その他オートデスク製品は、下記にてご購入ください。

オートデスク認定販売パートナー

<http://www.autodesk.co.jp/partner>

オートデスク オンラインストア

[www.autodesk.co.jp/estore](http://www.autodesk.co.jp/estore)

## Autodesk®

オートデスク株式会社 [www.autodesk.co.jp](http://www.autodesk.co.jp)

〒104-6024 東京都中央区晴海1-8-10 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーX 24F

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪トラストタワー3F

TEL: 0570-064-787 (オートデスク インフォメーション センター)

※Autodesk、Face Robot、FBX、Maya、Softimage、3ds Maxは、米国および/またはその他の国々における、Autodesk、Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。mental rayは独mental images GmbHの登録商標で、Autodesk、Inc.はその使用許可を得ています。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。オートデスクは、通知を行うことなくいつでも該当製品およびサービスの提供、機能および価格を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。

© 2010 Autodesk, Inc. All rights reserved.

M&E403-1003(Z)

## Autodesk Softimage 2011製品Webサイト [www.autodesk.co.jp/softimage](http://www.autodesk.co.jp/softimage)

オートデスク認定販売パートナー